

コロナ禍に
よって
社会的
価値観が
激変。
アフターコロナの
まちづくりを考えます。

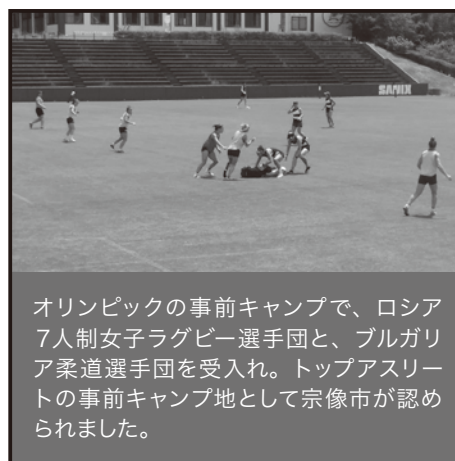
32号です。



アフターコロナのスポーツの価値とは？

宗像市は、協働・共生・自立の理念でまちづくりを進めてきましたが、コロナ禍によりその根本となる地域社会のつながりが途切れ、コミュニティ崩壊の危機を感じました。つながりを再構築して、アフターコロナのまちづくりを進めていくには、宗像の特徴であるスポーツの力を活用すべきと考えます。

スポーツ庁は、「スポーツは国民に誇りと喜び、夢と感動、勇気、楽しさを提供できるもの。それだけにとどまらず、経済社会の活性化・問題解決に寄与する多様な価値を有するもの」と、アフターコロナの時代に必要とされるスポーツの価値を定義し、ポストコロナ社会の牽引役とするため、取組を実施していきます。



オリンピックの事前キャンプで、ロシア7人制女子ラグビー選手団と、ブルガリア柔道選手団を受入れ、トップアスリートの事前キャンプ地として宗像市が認められました。

宗像市は、宗像市スポーツ推進計画（後期）を定め、「スポーツで笑顔・元気あふれるまちづくり」を目指し、また、「ラグビータウン宗像」として、地域のラグビー資源を活用したまちづくりを推進し、スポーツの社会的価値は「コロナ禍で分断された人と人とのつながりや地域への愛着心を育むなどの地域の活性化や、様々な課題解決に寄与する」としています。

オリンピックのキャンプ地受入事業では、トップアスリートの事前キャンプ地としてスポーツブランドが向上、感動が子どもたちの心に残るようレガシー事業の構築をすすめています。宗像市版スポーツコミッションでは、グローバルアリーナと協定を結び、青少年の健全育成、まちづくりや地域の活性化を図って事業を展開しています。コロナ禍というピンチによって課題が表面化しました。今までの当たり前を見直し、問題の解決に導くチャンスでもあります。アフターコロナの宗像の形をつくり直して、特性をブランドとして磨き上げ、選ばれるまちとなるべきだと考えます。

ご意見、ご感想などメッセージ頂ければ励みになります！

日々の活動はfacebookにて
fb.me/goyo4da

吉田どうのホームページ
non3.jp/yoshidago

一般質問の会議映像は
宗像市役所HPにて

宗像サニックスブルースとワンチームに！

宗像サニックスブルースは、ラグビータウン宗像のシンボリックな存在です。試合を通じて全国に宗像の名前が発信される知名度の向上、身近な地元チームが活躍することで、市民の愛着や誇り、連帯感強化につながります。また、幼稚園・保育所への訪問や、小学校でのタグラグビー教室、玄海ジュニアや高校生への指導、さらに、田熊山笠の参加、地域清掃や、小・中学校での挨拶運動など、地域に出向き、市民と積極的に交流し、地域密着型のチームづくりをしています。

また、プロスポーツチームが存在は、トップアスリートに身近に感じ、子どもたちの夢や目標を現実のものとしてステップアップさせる効果があります。スポーツ観光のコンテンツとしても大きな財産であり、ラグビータウン宗像の人づくり、まちづくりにとって欠かすことのできない存在です。教育的視点では、「次世代を担う子どもたちの健全な育成や地域づくりの心強いパートナー」です。



新チームロゴは、宗像の海・空・市民の選手の清い精神を表し、空に浮かぶ宗像大社の屋根のフォルムに重なる形をイメージしています。

今年から国内最高峰のジャパンラグビーリーグワンが開催されました。その理念を先駆的に実施してきたのが宗像サニックスブルースなのですが、ディビジョン3（トップリーグのチームとしては唯一の最下部への振り分け）からのスタートで、チーム縮小の報道もあり、大企業がささえるリーグ中、母体企業のサニックスは最小の経営規模、と厳しい船出となっています。

新ユニフォームのコンセプトはメインカラーである青を基調に、宗像の海・島・風をイメージ、赤と黄色の胸のカラーは宗像の海にはためく大漁旗を表現、肩には宗像の市章が載り、部長の渡邊さんは「ブルースは宗像から世界に発信する、宗像を背負って戦う」という意思を示しています。

この貢献に対して宗像は、試合のバス運行等の協力はしていますが、ユニフォームの市章はスポンサー契約はせず、連携協定による市PR活動への協力の一環として費用を払っていません。仲間がピンチの時に助けるから信頼が生まれ、共に戦うことができます。ブルースの価値と貢献を受け止め、さらに踏み込んだ応援でワンチームになるべきです。

【追記】 この一般質問後に宗像サニックスブルースが今シーズン限りで活動休止となりました。今、やれる限りのことをやります。



宗像市議会議員 吉田こう

昭和48年 3月、宗像市田熊生まれ
東郷小学校～中央中学校卒業
平成3年 宗像高校卒業
平成8年 福岡大学経済学部卒業
平成8年 株式会社トランスオービット(旅行業)
入社、平成24年6月退社
平成24年 10月、宗像市議に初当選
令和2年 宗像市議に三選を果たす
現 在 宗像市久原に在住

吉田こう 議員活動ダイジェスト

- 10月 衆議院議員選挙が行われました。選挙の前後一か月はバタバタします。
- 11月 グローバルアリーナにおいて、第17回むなかたキッズセブンラグビー大会が開催されました。私も玄海ジュニアラグビークラブの運営スタッフの一員として参加、北は山口から南は鹿児島まで、37クラブ57チーム、500人を超える4年生が熱戦を繰り広げました。
- 12月 12月議会が行われました。コロナ禍で2年間自粛していた年末のあいさつ回りを行いました。来年はアフターコロナの世の中になることを願います。